

はしかみかわら版 第6号(平成24年5月)

会員のみなさまこんにちは。
階上町の皆様、わっせ交流センターオープンおめでとございます。長い歴史ある学び舎が時代と共に消えていく寂しさがあります。
先月いただいた町勢要覧を拝見し、こんな場面で自分の顔を晒すとは夢にも思ってみませんでした。東日本大震災の悪夢を忘れさせる様な、とても生き生きとした明るい町の様子に、在京者の一人としてほっとしております。階上岳のつじの群生、新緑の登山道、頂上からの眺め、ご来光と子供の頃の懐かしさがこみ上げてきます。
また、大阪や京都など修学旅行生のファームステイを行なっている、田代の土橋さんたちのグリーンツーリズムは我々の子供の頃はとても考えられない事で驚きです。
昨年の二月に、有谷升氏宅を訪問し「階上売込み隊」隊長として町への思い、町の歴史、ボランティア活動などお話しいただきました。
早生階上そばは六次産業化を図るとありますので、更なる高付加価値が期待できます。
我が「ふるさと」はしかみ会もいちご煮祭り同様、早生階上そば祭りを開催し、側面からPR活動できたらいいなあと考えています。
町勢要覧は四年に一度発行されますが、資料編の漁業関係は詳細に記載がありました。農業生産の推移では平成十八年度以降の生産数量などの記載が空欄なのは残念に思います。
先日、「びいだま」のステージが有楽町駅前広場でありましたが、今までにはない、のびのびとした迫力あふれる演奏に感動しました。また階上町出身の力士「赤峰関」が前回の定例で話題になり、夏休みが取れたら我々の定例に顔を出して頂けることになっていきますので会としても応援していきたいと思っております。
「いちご煮祭り」東京&第三回定期総会」ご案内はこれからになります。七月八日(日)には大勢の参加者をお待ちしております。(内城会長)



階上ブランド 階上早生そば
心なごもほしの味



“香が立つ”
元祖いちご煮

今回は、いちご煮祭りと定期総会を一緒に開催します。
また、昨年の震災を受けての復興支援と、ふるさと階上の誘客宣伝や情報発信を目的とした助成制度を活用し、階上町役場関係者のご参加によるイベントも企画しております。是非とも関東圏在住の方々で出身以外の方々にもお誘い合わせの上、多数のご参加お待ちしております。
具体的な申込みは、後日当会のHP(<http://www.hashikami.info/>)にてご案内させていただきます。

記

日時：平成24年7月8日(日) 13:00～16:00
13:00～14:00 定期総会
14:00～16:00 いちご煮祭り in 東京
場所：ホテルボール麹町3階 マーブル(千代田区平河町2-4-3)

【いちご煮祭り in 東京の主なイベント内容】

- I. 郷土料理コーナー(予定)
 - 1) いちご煮 2) いちご煮の炊きこみご飯試食 3) 階上早生そば(十割)
 - 4) アイナメ料理 5) 山ウドジュース試飲コーナー
 - II. 物産即売コーナー
- ※状況により内容が予告なしに変更される場合がありますので、ご了承ください。



昨年のいちご煮祭りの集合写真

『いちご煮祭り』東京&第三回定期総会』の予告案内

煮汁の分量(割合)

- 出汁(昆布と鰹だし).....10
- 濃口醤油.....0.5
- 淡口醤油.....0.5
- 酒.....0.5
- 味醂(みりん).....1
- 砂糖.....適量



(提供：町家&遊膳 川向会員)

【作り方】
①大きめの真ガレイはうろこ内臓を取り、頭としっぽを落としてバランスをみて二枚に切り分けまします。小さめなら姿のまま。
②適当な鍋に入れ、分量の煮汁を身がかぶるぐらい入れ、生姜のスライスと長ネギの斜め切りを加えて、あくを掬いながら十八分ほど煮たら出来上がりです。ポイントが煮すぎない事、しかし、真砂(たまご)には熱が入りにくいので火の止め時は気をつけましよう。身を食べておつゆも飲める程度に出来たらOK!

私が階上にいた頃お袋がよくカレイの煮つけを作ってくれたものでした。真ガレイやナメタガレイが多かったように思います。
一般にカレイの煮つけは濃い口醤油と酒、砂糖で甘辛に煮付けます、が、おふくろの味はもつとさっぱりとしたものでした。よくカレイ吸い物といっておりました。わたしも自分で食べた「ふるさと」はしかみ会」のスタッフミーティングなどのときは、昔の味を思い出して作っております。特に赤ガレイや黒ガレイが入ったときはうれしくなります。



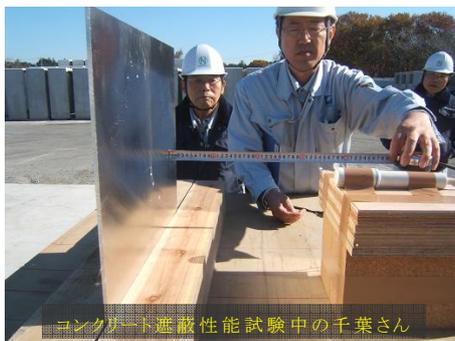
郷土料理の紹介コーナー
真ガレイの煮つけ

震災復興支援の活動報告 (千葉行雄)

がんばれ！東北

1年前の東日本大震災によって被害を被った方々に対し、私たちは何が出来るだろう。誰もが一度は考えたと思いますが、自分が持っている技術や経験を活かすことができればこれに勝つことはありません。私はこの20数年で高比重コンクリートの開発から、全国の港の防波堤向けにこの販売を手掛けてきました。高比重であることは、放射能遮蔽性を併せ持ち、この性能を活かすことにより放射能汚染被災地の復旧に役立てることができればまさに本望です。昨年5月から昔の仕事仲間と声を掛け合い、各技術を持ちよって、放射能の除染・遮蔽・格納のトータルシステムを開発し、今年1月1日に有限責任事業組合を立ち上げました。国交省の実証事業にも採用され、各省庁、東電、ゼネコンへ営業活動を進めています。日経新聞、環境新聞、セメント新聞などにも掲載してきました。また、某テレビ局からの取材依頼もきています。

また、私は岩手大学土木工学科卒ですが、同期がOB会(きたかみ会)会長に昨年就任し、この災難に際しOBとして「何とかせにやいかん」という気持ちから、OBの力を津波の被災地で発揮してもらおうと企画(仮称：きたかみ会学び地応援隊)しています。具体的には、災害復旧の予算は付いている



コンクリート遮蔽性能試験中の千葉さん

が、被災した岩手沿岸市町村では、建設の発注業務ができる技術者が足りないという状況から、その応援のために臨時職員としてOBを派遣することです。まだ、現役の数人が動いているだけですが、なんとか被災地の役に立てればと活動しています。(千葉会員)

『びだまのコンサート』で生演奏堪能

二〇一二年三月一〇日池袋ロサ会館

去る三月一〇日、びだまの『ここぞ演ったが一〇年目／東京編』のコンサートを聴きに池袋のロサ会館へ行ってきました。会場は満員大入り状態で当日の小雨交りの空模様をぶっ飛ばすような雰囲気でした。生演奏は五臓六腑に響き渡る凄まじい迫力、びだまのコンビも汗を流しながらの熱演でした。

コンサートはまず東京都出身の三人組おとどけもの演奏で開演。次にバックバンドカクタスを率いて鹿児島出身の永山淳が美しいノドを披露。そして、いよいよ、びだまが登場し、オリジナル曲「ぼくらの街」でスタート。交流会でびだまの演奏は聴いていましたがライブハウスでの醍醐味を満喫しました。

二時間半のコンサートはあつという間でした。マスクへの出度度はまだまだですけども、実力度はメジャー級間違いなし。

今後の益々の活躍を大いに期待しますと共に会としても応援していきたいと思えます。参考までに「ぼくらの街」のCDも発売されています。とてもいい歌ですので皆さんも是非を聴いてみてください。(文中敬称略) (野沢慶蔵会員)



お知らせ イベントコーナー

月日	東京 イベント
5 / 14 (月)	役員会 (スタッフミーティング)
5 / 15 (火)	第6号はしかみかわら版発行
5 / 19 (土)	第2回ふるさとのはしかみ会ゴルフコンペ
6 / 15 (金)	役員会 (スタッフミーティング)
6 / 24 (日)	サロマ湖ウルトラマラソン 100 ㎞
7 / 8 (日)	いちご煮祭り in 東京 & 第3回定期総会
7 / 13 (月)	役員会 (スタッフミーティング)
7 / 15 (日)	小布施見にマラソン 21.0975 ㎞
7 / 29 (日)	釧路湿原マラソン 30 ㎞
8 / 17 (金)	役員会 (スタッフミーティング)

【事務局より連絡】
今月より会員の皆様方には、かわら版と一緒に“広報はしかみ”も3ヶ月に一度役場から発送しますので、お楽しみ下さい。

発行日：平成24年5月15日

発行人：内城美名生

編集人：川向善美・野沢敬貴・濱谷博通

電話：090・2572・6921

編集後記：

2月は塩垣さんがエントリした青梅マラソン・東京マラソンへの応援、4月は隅田公園での花見会と、皆様方のご協力により無事に終えることができました。また、ふるさとのはしかみホームページへのバナー広告も5社が決定し、会の運営費用も何とか目途が立ちつつあります。

今後は、7月8日予定しております『いちご煮祭り in 東京 & 第3回定期総会』に向けて進めて参りますので、ご協力のほど宜しくお願いします。

次回夏季号は、8月20日発行予定